

1面掲載写真を募集しています

平塚市内に在住又は在勤・在学の方を対象に、市内を撮影した四季折々の風景など、本市の魅力あふれる写真を募集しています。

今回は、第241号(令和8年5月1日発行予定)に掲載する写真を募集します。

詳しい応募方法などは、市議会ホームページをご覧ください。
か、議会局までお問い合わせください。

(議会局 ☎21-8791)



未来につづくまちづくり

坂間 正昭 議員

平塚市都市マスタープランの運用について

問 令和9年度までに実施する、改定に向けたまちづくりの進め方を伺う。

まちづくり政策部長 将来の都市構造として2核1地域を掲げ、基本的な都市構造を継承し、各方針の進捗状況について評価、検証を行う。さらに、第2次一部改訂の「西部地域のまちづくり方針」を踏まえ、地域の意見を聞きながら進めていく予定である。

問 一部改訂された都市マスタープランについて伺う。

まちづくり政策部長 神奈川県大学湘南ひらつかキャンパスの跡地活用の方角性を踏まえて改訂したものである。都市計画の手続きとしては相当なスピード感を持って取り組んだ。内容は、特定の施設計画のため

ではなく、西部地域にふさわしい土地利用を誘導するために行ったものである。

問 都市マスタープランの改訂は多くの時間を使ったが、市長の見解を伺う。

市長 組合の自己都合、経営判断による撤退だと言われ納得がいかない。県や組合には、まちづくりの基本的な方針を改訂した重大性を認識してもらいたい。今後も西部地域のまちづくりのため、地域に寄り添い対応していきたい。

問 市街化調整区域は宅地要件が厳しく、新しい住宅を建てるのが難しい。都市計画法第34条第11号には、市の条例で定める基準に適合する場合に、自己用住宅を建てられる規定があるが、運用についての見解を伺う。

まちづくり政策部長 本文は、市街化区域の近傍にある市街化調整区域内の土地に対して建築の許可を出す

ものであるため、適用は難しいが、立地適正化計画に日常生活拠点が位置付けられており、検討の余地があるため、継続的に研究を進めていきたい。

耕作放棄地の現状と対策

問 本市の耕作放棄地の現状、要因及び改善について伺う。

産業振興部長 遊休農地は減少傾向にある。高温少雨や鳥獣などの被害による農作物の収穫減が要因であり、農業支援ワンストップ相談窓口での相談などで改善に取り組んでいる。

問 近隣市では熊の目撃情報もある。熊が農地などに出没した際の対策を伺う。

産業振興部長 県の対応マニュアルに準じ、庁内に情報提供し、注意喚起を行う。被害防止に向け、平塚市危機管理対策方針に基づく危機管理対策会議を設置するなど、状況に応じて体制を整える。

大規模火災への備えについて

大規模火災への備えについて

問 訓練の実施状況について伺う。

消防長 毎年、横浜市消防局の消防ヘリコプターと合同で空中消火訓練を実施している。また、消防団と合同で林野火災など大規模火災に備えて遠距離送水訓練を実施している。

消防団員の確保に向けて

問 消防団員のスキル向上に向けた取り組みを伺う。

消防長 災害対応訓練や研修を実施し、災害対応能力の向上に努めている。

問 消防団員に対する資格試験の免除について伺う。

消防長 消防設備士や防火管理者、危険物取扱者など団員歴や階級により試験の優遇措置が受けられる。

このほかの質問 遠藤原一般廃棄物最終処分場の今後の進め方 忠魂碑などの現状と課題

清風クラブ 所属議員



佐藤 貴子 議長



数田 俊樹 議員



諸伏 清児 議員



須藤 量久 議員



黒部 栄三 議員

常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。主な質疑を紹介します。

総務経済

議案8案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第90号 平塚漁港管理条例の一部を改正する条例

問 現在設定している駐車場使用料は、近隣に比べて非常に安価なため、多くの人が利用している。今回、通常期と夏期それぞれ100円ずつ使用料を上げる予定だが、増額見込みを伺う。また、増額した使用料の使途を伺う。

答 年間合計で900万円程の増額を見込んでおり、漁港の維持管理のために必要な経費に充てるほか、安全面や快適性を向上させるための費用に活用していきたいと考えている。

○議案第99号 令和7年度平塚市一般会計補正予算

問 防災対策費の災害対策庶務事業について、防災ガイドブックを増刷するが、予定数と更新の頻度を伺う。

答 増刷は6千部を予定している。毎年更新するものではなく、大きな変更があった際など、必要に応じて更新している。

都市建設

議案3案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第91号 平塚市火災予防条例の一部を改正する条例

問 条例改正の内容を伺う。

答 林野火災予防の実効性を高めることを目的とし、林野火災と林野火災の予防行政について定義した。今回の改正により、気象状況、特に乾燥状況により指定された範囲において、林野火災注意報や林野火災警報を発令することが可能となり、発令されると屋外で裸火を使用した焼却行為が制限、あるいは禁止される。これにより一定の予防効果が得られると考えている。

問 消防本部が管理しているドローンは、林野火災などで活用できないのか伺う。

答 ドローンには、サーマルカメラ機能が付いており、温度を可視化して熱源を確認することができ、上空から現場を確認して火災の状況把握や活動方法の決定などに活用することで、効果的な消火活動につながると考える。

教育民生

議案2案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第99号 令和7年度平塚市一般会計補正予算

問 学校給食費の学校給食管理事業について、地元の食材を活用した事業や、ふれあい給食において生産者と給食を食べながら苦労話などを聞くことは、子どもたちにとって貴重な時間になる。子どもたちの地元への愛が深まったなど、効果の検証はしたのか伺う。

答 今年度は、今後の予定も含めて農業6件、漁業4件、畜産業1件のふれあい給食及び特別授業を実施し、児童からは「いつもより給食がおいしく感じた」、「感謝の気持ちが育まれた」と感想を聞いている。効果の検証については、年度末に実施したい。

問 教育指導費の学校安全対策推進事業について、防犯カメラの修繕の状況を伺う。

答 防犯カメラは、平成27年に小中学校43校に導入した。型式が古く、屋外設置による劣化が原因の故障が年々増加している。

環境厚生

議案11案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第95号 指定管理者の指定について〔平塚市南部福祉会館及び平塚市西部福祉会館〕

問 南部福祉会館と西部福祉会館を一体で委託する理由を伺う。

答 一体管理を行うことで、両館の設備の機能面を補完し合う体制が構築しやすく、施設の価値を高められると考えた。併せて、人材確保の観点から、有資格者を兼務雇用できるよう配慮した。

○議案第102号 平塚市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

問 本市の需要予測と予測根拠について伺う。

答 平塚市こども計画を策定する際にアンケート調査を行っており、これを基に計算したところ、対象者となる0歳6か月から3歳未満で、保育所などに通園していない子どもは1760人である。そのうち利用希望は約14%であるため、利用者は約250人と見込んでいる。